（５） ぶ ど う

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
1 黒とう病 *Elsinoë ampelina*	1.密植園では間伐し、窒素質肥料の過用を避ける。 2.強せん定は避けるようにし、病斑のある枝は切り取る。特に、棚面の巻きひげは極力除去する。 3.被覆栽培をすれば発病が少ない。 4.欧州系品種に発病しやすい。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 2.フロンサイドＳＣの注意事項 ・散布後７日以内の入園はしない。 ・ハウスでは使用しない。 3.ボルドー液の作り方は果樹参考２参照。	発芽直前 （３月下旬 ～４月上旬）	M1 M9 M3･1	ドキリンフロアブル デランフロアブル （混）ベンレートＴ水和剤２０
		発芽直後	M1	キノンドー顆粒水和剤
		４月中旬 ～５月中旬まで	1 1 3 3 3 3 3 7 7 7 11 11 11 11 29 M3 M3 M3 M3 M3 M4 M9 40･M3 40･M3 M4･P7 M2･M1	トップジンＭ水和剤 ベンレート水和剤 トリフミン水和剤 マネージＤＦ オンリーワンフロアブル インダーフロアブル ベランティーフロアブル フルーツセイバー パレード１５フロアブル カナメフロアブル アミスター１０フロアブル ストロビードライフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 スクレアフロアブル フロンサイドＳＣ ジマンダイセン水和剤 ジマンダイセンフロアブル ペンコゼブ水和剤 ペンコゼブフロアブル トレノックスフロアブル オーソサイド水和剤８０ デランフロアブル （混）カンパネラ水和剤 （混）ベネセット水和剤 （混）アリエッティＣ水和剤 （混）園芸ボルドー
		５月下旬 ～６月下旬まで	3 3 3 3 M1 M1	トリフミン水和剤 マネージＤＦ オンリーワンフロアブル インダーフロアブル ボルドー液 ＩＣボルドー６６Ｄ
2 晩腐病 *Glomerella cingulata* *Colletotrichum fioriniae*	1.密植園では間伐を行い、通風を図る。 2.肥培管理に注意し、樹勢を強くする。 3.６月下旬頃までに耐水性の袋をかける。 4.第２回目ジベレリン処理直後にカサをかける。 5.米国系品種に発病しやすい。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.トップジンＭペーストは結果母枝を主体に塗布する。 2.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 3.本病対象に防除を実施しているところでは、白腐病の発生が少ない。 4.フロンサイドＳＣの注意事項は黒とう病の項を参照。 5.オンリーワンフロアブルはすす点病にも登録がある。	休眠期	1	トップジンＭペースト
		発芽直前 （３月下旬 ～４月上旬）	M9 M3･1	デランフロアブル （混）ベンレートＴ水和剤２０
		落弁期 ～袋掛け前	1 1 3 7 7 11 11 11 12 29 52 52 M1 M3 M3 M3 M4 1･M3 9･12 27･11 40･M3 40･M3 M4･P7	トップジンＭ水和剤 ベンレート水和剤 オンリーワンフロアブル アフェットフロアブル フルーツセイバー アミスター１０フロアブル ストロビードライフロアブル スクレアフロアブル セイビアーフロアブル２０ フロンサイドＳＣ ミギワ２０フロアブル アイーナ２０フロアブル ＩＣボルドー６６Ｄ ジマンダイセン水和剤 ジマンダイセンフロアブル ペンコゼブフロアブル オーソサイド水和剤８０ （混）ラビライト水和剤 （混）スイッチ顆粒水和剤 (混)ホライズンドライフロアブル （混）カンパネラ水和剤 （混）ベネセット水和剤 （混）アリエッティＣ水和剤
		袋かけ後	M1	ＩＣボルドー６６Ｄ

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

ぶどう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
3 苦腐病 *Greeneria uvicola*	1.被害枝、巻きひげ等を処分する。 2.袋かけをすると、発生が少ない。 3.窒素肥料の過用を避け、加里肥料を適正に施用し、枝葉の充実を図る。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。	５月上旬 ～６月中旬 （落花後）	1	トップジンＭ水和剤
4 房枯病 *Botryosphaeria* sp. *Fusicoccum aesculi*	1.窒素質肥料の過用を避ける。 2.排水を図り、地下水の停滞を避ける。 3.樹勢に適した結果量に制限する。 4.着色前の極端な新梢の切り取りを避ける。 5.台木は、イブリットフラン､テレキなど、深根性台木を用いる。 6.被害果を、できるだけ処分する。 7.粗皮削りを行う。 8.欧州系品種に発病しやすい。 9.５月下旬～６月中旬に感染しやすい。			
5 褐斑病 *Pseudocercospora vitis*	1.密植を避けて棚下を明るくする。 2.窒素質肥料の過用を避け、敷わら等を行い、肥料の流亡を防止する。 3.落ち葉を集めて処分する。 4.米国系品種に発病しやすい。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。	５月中下旬 ～６月中旬頃	1 1 7 7 3 3 11 11 11 M1 M3 M4 27･11	トップジンＭ水和剤 ベンレート水和剤 フルーツセイバー カナメフロアブル オーシャインフロアブル オンリーワンフロアブル アミスター１０フロアブル ストロビードライフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 Ｚボルドー ジマンダイセン水和剤 オーソサイド水和剤８０ (混)ホライズンドライフロアブル
6 灰色かび病 *Botrytis cinerea*	1.園地の排水に努め、多湿を防ぐと同時に枝の過繁茂を避け、日照をよくする。 2.施設栽培では換気を図る。 3.果実に附着した花冠は早めに取り除く。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 2.カンタスドライフロアブルは、浸透性を高める効果のある展着剤や葉面液肥を加用すると薬害を生じるおそれがあるので避ける。 3.カンタスドライフロアブルは少量の水で溶解しにくいので、散布液調製の際は、水をかき混ぜながら本剤の所定量を徐々に加える。 4.カンタスドライフロアブルは大粒種ぶどうに登録がある。 5.フロンサイドＳＣの注意事項は黒とう病の項を参照。	開花直前 落花直後 開花直前～落花直	1 1 2 3 7 7 7 11 17 29 52 M3 10･1 M2･M1 M4･P7	トップジンＭ水和剤 ベンレート水和剤 ロブラール水和剤 ベランティーフロアブル カンタスドライフロアブル フルーツセイバー カナメフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 パスワード顆粒水和剤 フロンサイドＳＣ アイーナ２０フロアブル トレノックスフロアブル （混）ゲッター水和剤 （混）園芸ボルドー （混）アリエッティＣ水和剤
		開花期～幼果期	3 3 7 7 7 11 11 11 11 12 BM2 9･12 ー･19	オーシャインフロアブル オンリーワンフロアブル フルーツセイバー パレード１５フロアブル カナメフロアブル アミスター１０フロアブル ストロビードライフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 スクレアフロアブル セイビアーフロアブル２０ （生）エコショット （混）スイッチ顆粒水和剤 （混）デュアルサイド水和剤
		ハウス内防除 （くん煙）	2 9	ロブラールくん煙剤 フルピカくん煙剤
		ハウス内防除 （常温煙霧）	2	ロブラール水和剤

ぶどう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除 防除時期	RACコード	薬剤
7 うどんこ病 *Erysiphe necator* var.*necator*	1.被害葉、果実を除去し、処分する。 2.欧州系品種に発病しやすい。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 2.オンリーワンフロアブルはすす点病にも登録がある。	発芽前 開花直前 開花後 (５月上旬、 ６月中旬、 ７月上中旬)	1 1 3 3 3 3 7 7 7 11 11 11 －	トップジンＭ水和剤 ベンレート水和剤 トリフミン水和剤 マネージＤＦ オンリーワンフロアブル インダーフロアブル ベランティーフロアブル フルーツセイバー カナメフロアブル パレード１５フロアブル ストロビードライフロアブル スクレアフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 オマイト水和剤
8 つる割病 *Phomopsis viticola*	1.排水を図り、樹勢が衰弱しないよう、肥培管理する。 2.罹病枝は処分する。 3.ネオマスカット、マスカット・オブ・アレキサンドリアは発病しやすい。	休眠期	M3･1	(混)ベンレートＴ水和剤２０
9 べと病 *Plasmopara* *viticola*	1.肥培管理に注意して、樹勢を健全に保つ。 2.排水に努め、敷わらを励行する。 3.屋根かけなど、施設栽培を導入する。 4.被害葉は土中深く埋没する。 5.欧州系品種に発病しやすい。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 2.４～５月に降雨量が多く、多発生が予想される場合は、防除を徹底する。 3.フロンサイドＳＣの注意事項は黒とう病の項を参照。 4.ボルドー液の作り方は果樹参考２参照。	開花直前～落弁期 ５月中旬 ～７月中旬 ８月～９月	11 11 21 21 22 29 40 40 P7 M1 M1 M1 M1 M1 M1 M1 M1 M1 M1 M3 M3 M3 M3 M4 4･M5 M3･4 21･27 27･11 27･40 27･M3 43･40 45･40 49･40 40･M1 40･M3 40･M3 M2･M1 M2･M1 M4･P7	アミスター１０フロアブル ストロビードライフロアブル ランマンフロアブル オラクル顆粒水和剤 エトフィンフロアブル フロンサイドＳＣ フェスティバル水和剤 レーバスフロアブル アリエッティ水和剤 コサイド３０００ Ｚボルドー ムッシュボルドーＤＦ ドキリンフロアブル キノンドー顆粒水和剤 ＩＣボルドー４８Ｑ ＩＣボルドー６６Ｄ ボルドー液 クプロシールド ジマンダイセン水和剤 ジマンダイセンフロアブル ペンコゼブ水和剤 ペンコゼブフロアブル オーソサイド水和剤８０ (混)フォリオゴールド (混)リドミルゴールドＭＺ (混)ダイナモ顆粒水和剤 (混)ホライズンドライフロアブル (混)ベトファイター顆粒水和剤 (混)カーゼートＰＺ水和剤 (混)ジャストフィットフロアブル (混)ザンプロＤＭフロアブル (混)オロンディスウルトラＳＣ (混)フェスティバルＣ水和剤 (混)カンパネラ水和剤 (混)ベネセット水和剤 (混)イデクリーン水和剤 (混)園芸ボルドー (混)アリエッティＣ水和剤
10 さび病 *Physopella* *ampelopsidis* *Phakopsora* *meliosmae-myrianthae* *P.montana*	1.被害葉を除去し、処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。	６月中下旬	3 7 7 7 11 11 11 M1 M1 M1	オンリーワンフロアブル フルーツセイバー パレード１５フロアブル カナメフロアブル アミスター１０フロアブル ストロビードライフロアブル ファンタジスタ顆粒水和剤 コサイド３０００ Ｚボルドー ムッシュボルドーＤＦ

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

ぶどう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
		6月中下旬	M1 M3	ICボルドー66D ジマンダイセン水和剤
11 枝膨病 *Diaporthe kyushuensis*	1.無病苗を導入する。 2.伝染源を少なくするために、粗皮はぎや巻きひげの除去を行う。 3.せん定時に、節部肥大症状やかいよう症状を呈している部分をできるだけ除去する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考1を参照。 2.フロンサイドSCの注意事項は黒とう病の項を参照。	発芽直前 (3月下旬 ～4月上旬)	1	ベンレート水和剤
		開花期～落弁期	29 M1 M9	フロンサイドSC ドキリンフロアブル デランフロアブル
		開花期～幼果期	11 11 M4	アミスター10フロアブル ストロビードライフロアブル オーソサイド水和剤80
12 白紋羽病 *Rosellinia necatrix*	1.かんきつの紋羽病に準ずる。 2.発芽前（3月）、落葉後（11月）に処置する。 3.適正結果量を守り、樹勢を衰弱させない。 **〈薬剤使用の特記事項〉** ●萌芽期まで（病樹の治療） 1.フジワン粒剤は根に付着するように処理する。 ●夏期～秋期（翌春植付） 1.消毒方法はⅢ－14．土壌病害虫の防除の項参照。	休眠期	29	フロンサイドSC
		萌芽期まで 病樹の治療	6	フジワン粒剤
		夏～秋期 (翌春植付)	－ －	ガスタード微粒剤 バスアミド微粒剤
13 切り口及び傷口のゆ合促進	**〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考1を参照。	せん定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後	1	トップジンMペースト
14 越冬病害虫 カイガラムシ類 ハダニ類	**〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考1を参照。 2.石灰硫黄合剤の希釈倍数は商品によって異なることがあるため、ラベルで確認すること。 3.本病害虫を対象に防除を実施しているところでは、ブドウハモグリダニの発生が少ない。	発芽前 (3月上旬 ～4月上旬)	UN	石灰硫黄合剤
15 ブドウトラカミキリ	1.せん定枝を処分する。 2.結果母枝のせん定を注意して行う。 3.主枝は8月初めにワラまたは紙を巻いて産卵を防止する。 4.落葉後から発芽前までに樹皮下で越冬している幼虫を殺す。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考1を参照。	8月中旬 ～9月下旬	1B 3A 4A	スミチオン水和剤40 ロビンフッド ダントツ水溶剤
		休眠期 (10～3月)	1B 4A	ガットキラー乳剤 モスピラン顆粒水溶剤
16 ブドウスカシバ	1.食入場所を見つけ刺殺する。 2.せん定枝を処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考1を参照。	5月下旬 6月上旬 6月中旬	1B 14 28	スミチオン水和剤40 パダンSG水溶剤 フェニックスフロアブル
17 コウモリガ	1.地際部から食入することが多いため、主幹部の周囲を清潔にし、雑草を取り除く。 2.園の周囲の雑草を刈り取る。 3.幼虫を刺殺する。	6月下旬	1B 3A	ガットサイドS ロビンフッド

ぶどう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
18 アカガネサルハムシ	1. デラウエア、キャンベル・アーリー等で被害が多い。 2. 山間地の園に発生が多い。 3. 有機質肥料を多用すると、多発生することがある。	４月下旬 ～５月上旬	1B	スミチオン水和剤４０
19 コガネムシ類	1. 有機質肥料を多用すると、多発生することがある。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 2. スミチオン水和剤４０はコガネムシ類成虫に登録がある。 3. アディオンフロアブルは大粒種ぶどうに登録がある。	６月上旬 ～７月上旬	1B 3A 3A 3A 4A 13 28 28	スミチオン水和剤４０ アディオン水和剤 アディオンフロアブル アグロスリン水和剤 ダントツ水溶剤 コテツフロアブル ヨーバルフロアブル エクシレルＳＥ
20 フタテンヒメヨコバイ	1. 越冬源となる園周辺の雑草を処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 2. 一斉防除を行う。 3. アディオンフロアブル、パダンＳＧ水溶剤は大粒種ぶどうに登録がある。 4. ダントツ水溶剤は、ミツバチを放飼している地域での使用を避ける。また、マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意する。 5. コテツフロアブルはチャノキイロアザミウマにも登録がある。 6. アプロードフロアブルは幼虫での登録である。	４月下旬 ～６月上旬 ７月上旬 ～９月下旬	1B 3A 3A 3A 3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 13 14 16 28 30	スミチオン水和剤４０ アディオン水和剤 アディオンフロアブル アグロスリン水和剤 スカウトフロアブル アーデントフロアブル アドマイヤー水和剤 アドマイヤー顆粒水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 ベストガード水溶剤 アクタラ顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 コテツフロアブル パダンＳＧ水溶剤 アプロードフロアブル エクシレルＳＥ グレーシアフロアブル
21 コカクモンハマキ	**〈薬剤使用の特記事項〉** 1. ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 2. オリオン水和剤４０はチャノコカクモンハマキに登録がある。	発生期	1A 1B 1B 11A 11A 11A 11A 11A 11A 13 28 28	オリオン水和剤４０ マラソン粉剤３ マラソン乳剤 トアロー水和剤ＣＴ ゼンターリ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 エスマルクＤＦ クオークフロアブル ファイブスター顆粒水和剤 チューンアップ顆粒水和剤 コテツフロアブル サムコルフロアブル１０ ヨーバルフロアブル
22 ブドウトリバ	1. 被害果粒を除去し、処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. スミチオン乳剤は幼果期以降に使用すると果面に汚れが生じるおそれがある。	５月下旬 ～６月中旬 （１～２回散布）	1B	スミチオン乳剤
23 チャノキイロアザミウマ	1. 粗皮削りを行う。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1. ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 2. ダントツ水溶剤は、ミツバチを放飼している地域での使用を避ける。また、マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意する。 3. トクチオン水和剤、アディオンフロアブル、パダンＳＧ水溶剤は大粒種ぶどうの登録しかない。 4. 本虫対象にアグロスリン水和剤、スカウトフロアブルで防除を実施しているところでは、クワゴマダラヒトリの発生が少ない。（発芽期～５月） 5. 本虫対象にグレーシアフロアブルで防除を実施しているところでは、カンザワハダニの発生が少ない。	落花直後 ～幼果期	1B 3A 3A 3A 3A 3A 3A 3A 4A 4A 4A 4A 4A 30	トクチオン水和剤 アディオン水和剤 アディオンフロアブル アグロスリン水和剤 スカウトフロアブル ロディー水和剤 アーデントフロアブル テルスターフロアブル アドマイヤー水和剤 アドマイヤー顆粒水和剤 アドマイヤーフロアブル モスピラン顆粒水溶剤 ベストガード水溶剤 グレーシアフロアブル

ぶどう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
		落花直後 ～幼果期	4A 4A 4A 4A 4A 5 9B 14 28 28 34 34 ー・ー	バリアード顆粒水和剤 アクタラ顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 ディアナＷＤＧ コルト顆粒水和剤 パダンＳＧ水溶剤 ヨーバルフロアブル エクシレルＳＥ ファインセーブフロアブル アベンジャーフロアブル （混）デュアルサイド水和剤
		ハウス内防除（常温煙霧）	4A	アドマイヤー水和剤
24 クワコナカイガラムシ	1.粗皮削りを行う。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 2.本虫対象に防除を実施しているところでは、ブドウトリバの発生が少ない。 3.幼果期までにアルバリン顆粒水溶剤またはスタークル顆粒水溶剤を処理する場合は、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いだ部分に塗布する。 4.ダントツ水溶剤は、ミツバチを放飼している地域での使用を避ける。また、マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意する。	４月上旬～ ５月上旬	4A 4A	アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤
		５月下旬 ～９月上旬	1A 1B 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4A 4C 9B 23	オリオン水和剤４０ スミチオン水和剤４０ アドマイヤー顆粒水和剤 モスピラン顆粒水溶剤 ベストガード水溶剤 バリアード顆粒水和剤 アクタラ顆粒水溶剤 ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 トランスフォームフロアブル コルト顆粒水和剤 モベントフロアブル
25 ハダニ類	1.下草、周辺雑草を処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 2.殺ダニ剤に対する抵抗性の発達を抑えるため、同一成分農薬の使用回数を年１回とする。 3.バロックフロアブル、ニッソラン水和剤は遅効性で成虫には効果がないので注意する。 4.オマイト水和剤はカンザワハダニに登録がある。 5.コテツフロアブルはナミハダニとカンザワハダニに登録がある。 6.サンマイト水和剤はでチャノキイロアザミウマにも登録がある。 7.ピラニカ水和剤は大粒種ぶどうに登録がある。	発生初期	6 10A 10B 12C 13 20B 20D 21A 21A 21A 23 25A 25A 25B 33 ー・ー	コロマイト水和剤 ニッソラン水和剤 バロックフロアブル オマイト水和剤 コテツフロアブル カネマイトフロアブル マイトコーネフロアブル ダニトロンフロアブル ピラニカ水和剤 サンマイト水和剤 エコマイト顆粒水和剤 スターマイトフロアブル ダニサラバフロアブル ダニコングフロアブル ダニオーテフロアブル （混）デュアルサイド水和剤
26 ブドウサビダニ	1.粗皮削りを行う。 2.枝の過繁茂を避ける。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。	発生初期	30 34 34	グレーシアフロアブル ファインセーブフロアブル アベンジャーフロアブル
27 アブラムシ類		発生初期	1B	スミチオン乳剤
28 クワゴマダラヒトリ	1.８月下旬に果樹園周辺のクワ、アカメガシワ、カラスザンショウ（カラスノサンショウ）などの産卵植物を伐採する。 2.10月上旬に産卵植物上の巣網を採集し、処分する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。	発生初期	1A 11A 11A 11A 28	オリオン水和剤４０ デルフィン顆粒水和剤 エスマルクＤＦ ファイブスター顆粒水和剤 サムコルフロアブル１０

農薬の使用方法や注意事項はラベルで確認する

ぶどう

防除法 病害虫名	防除のポイント	薬剤防除		
		防除時期	RACコード	薬剤
29 ケムシ類	**〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。	発生初期	28 28	フェニックス顆粒水和剤 フェニックスフロアブル
30 ハスモンヨトウ	1.卵塊、幼虫集団を見つけたら摘除する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。	発生初期	13 28 28 28 28 30	コテツフロアブル フェニックス顆粒水和剤 フェニックスフロアブル エクシレルＳＥ サムコルフロアブル１０ グレーシアフロアブル
31 ツマグロアオカスミカメ	1.前年被害が見られた園地では、展葉直前の薬剤散布を必ず実施する。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。	展葉直前	9B	コルト顆粒水和剤
32 カメムシ類	1.早期に袋掛けを行う。 2.施設栽培では、開放口をネット（４㎜目合以下）で覆う。 **〈薬剤使用の特記事項〉** 1.果実への寄生が認められる場合は、直ちに薬剤散布を行う。 2.成虫は山林原野から夕方に飛来し、夜間加害するので、防除は夕方に一斉に行う。 3.周辺にスギ、ヒノキ等の多い園や、過去に被害の認められた園では特に注意する。 4.ぶどうに対する薬害や汚れ、果粉溶脱の注意事項については、果樹参考１を参照。 5.ダントツ水溶剤は、ミツバチを放飼している地域での使用を避ける。また、マルハナバチに影響を及ぼすおそれがあるので注意する。	６月～９月中旬	4A 4A 4A	ダントツ水溶剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤